

Economic Indicators

定例経済指標レポート

指標名: 第3次産業活動指数(2009年7月)

発表日2009年9月17日(木)

～2ヶ月連続のプラス、7-9月期は6四半期ぶりのプラスに転じる公算大～

第一生命経済研究所 経済調査部

担当 エコノミスト 小杉 晃子

T E L : 03-5221-4548

(単位: %)

		第3次産業活動指数											
				電気・ガス・ 熱供給・水道業	情報通信業	運輸・郵便業	卸売・小売業	金融・保険業	不動産・物品 賃貸業	宿泊業・飲食 サービス業	医療、福祉	生活関連 サービス・娯 楽業	学術研究・専 門・技術サー ビス業
		前期比	前年比	前期比	前期比	前期比	前期比	前期比	前期比	前期比	前期比	前期比	前期比
08	1-3月	0.0	0.6	0.9	▲0.6	0.4	0.6	▲1.0	▲0.1	▲0.2	0.1	▲0.6	▲1.6
	4-6月	▲0.4	▲0.5	▲1.9	2.1	▲0.4	▲0.4	▲0.3	▲0.1	▲0.3	0.7	▲1.6	▲0.9
	7-9月	▲0.9	▲1.2	▲0.1	▲1.0	▲1.4	▲1.2	▲1.1	▲0.6	▲0.6	0.4	0.1	▲1.7
	10-12月	▲1.7	▲3.0	▲0.9	▲0.3	▲2.2	▲3.5	▲2.4	▲0.9	▲0.2	0.3	▲1.0	▲2.4
09	1-3月	▲3.1	▲6.5	▲4.2	▲2.1	▲3.4	▲8.6	▲1.8	0.5	▲3.4	1.2	▲1.0	▲1.0
	4-6月	▲0.7	▲6.3	▲0.4	2.1	▲1.4	▲2.4	2.8	▲0.5	0.4	0.8	▲0.7	▲1.8
08	1月	0.2	0.7	0.1	▲0.4	0.3	0.9	0.2	0.5	▲0.6	▲0.3	0.1	▲2.4
	2月	0.2	1.9	2.2	0.6	0.7	▲0.2	0.0	▲0.7	▲0.2	0.0	▲0.6	1.2
	3月	▲0.5	▲0.6	▲3.6	▲2.7	▲0.2	▲0.3	▲1.3	0.0	0.2	0.1	▲0.2	▲0.2
	4月	0.2	0.5	0.1	4.2	▲0.3	0.2	0.5	0.2	▲0.6	0.3	▲0.9	1.0
	5月	▲0.2	▲0.7	0.5	▲0.5	0.1	0.0	▲0.2	▲0.2	0.3	0.6	0.0	▲2.9
	6月	▲0.6	▲1.2	▲1.8	▲0.3	▲0.9	▲1.0	0.6	0.0	0.0	▲0.3	▲1.1	▲0.7
	7月	0.3	0.2	3.3	▲0.5	0.2	1.6	▲1.1	▲0.4	0.1	0.3	1.8	▲0.2
	8月	▲0.9	▲2.8	▲4.2	0.6	▲2.0	▲2.6	▲0.1	0.0	▲1.0	▲0.2	▲1.8	0.1
	9月	▲0.3	▲1.0	1.7	▲1.8	1.0	▲1.0	▲0.8	▲0.3	▲0.3	0.7	0.6	▲0.1
	10月	0.0	▲1.6	0.4	1.0	▲0.5	0.2	▲0.4	▲0.5	▲0.1	▲0.1	▲1.5	▲0.5
	11月	▲0.9	▲4.2	0.6	0.0	▲1.1	▲1.6	▲1.6	▲0.6	0.7	0.1	0.9	▲3.1
	12月	▲1.7	▲3.3	▲3.8	▲0.8	▲2.9	▲3.5	▲0.9	0.6	0.2	▲0.3	0.5	0.4
09	1月	0.5	▲4.3	0.0	1.8	0.9	▲0.1	▲1.2	0.6	▲3.3	2.2	▲1.9	0.0
	2月	▲2.0	▲7.3	▲2.5	▲0.9	▲3.0	▲5.2	0.0	0.0	▲1.5	▲2.0	2.1	▲2.1
	3月	▲2.7	▲7.7	▲0.3	▲8.2	▲0.3	▲7.1	1.7	▲0.9	1.4	1.7	▲3.2	3.3
	4月	2.0	▲6.3	▲0.2	8.2	▲0.3	4.0	2.1	0.1	0.1	0.8	1.5	▲1.3
	5月	▲0.4	▲7.3	1.8	1.6	▲0.1	0.9	▲1.5	0.0	1.1	▲1.4	▲1.0	▲5.5
	6月	0.2	▲5.3	▲1.1	▲2.3	0.8	▲0.6	1.4	▲0.1	▲2.3	1.0	0.0	5.6
	7月	0.6	▲5.4	▲1.0	1.0	1.3	3.2	▲1.5	▲0.1	1.0	▲0.4	0.5	0.4

(出所) 経済産業省「第3次産業活動指数」

○第3次産業活動指数：前月比+0.6%

7月の第3次産業活動指数は前月比+0.6%と、2ヶ月連続でプラスとなり、ほぼコンセンサス(同: +0.5%、レンジ: 同▲0.6%～+0.9%)通りの結果となった。景気対策の効果によって小売業が4ヶ月連続でプラスとなったことに加え、輸出や生産の回復により卸売業が2ヶ月ぶりにプラスに転じたことから、前月(前月比+0.2%)を上回るプラスとなった。第3次産業活動指数は緩やかに持ち直しつつあるといえよう。

主要13業種のうち、プラスに寄与した業種は卸売・小売業(前月比寄与度+0.77%ポイント)、運輸業、郵便業(同+0.11%ポイント)、情報通信業(同+0.10%ポイント)、その他サービス業(同+0.08%ポイント)、宿泊業、飲食サービス業(同+0.05%ポイント)、学術研究、専門・技術サービス業(同+0.02%ポイント)などの8業種、マイナスに寄与した業種は金融業、保険業(同▲0.14%ポイント)、電気・ガス・熱供給・水道業(同▲0.04%ポイント)、医療、福祉(同▲0.04%ポイント)、不動産業、物品賃貸業(同▲0.01%ポイント)などの5業種であった。

○家計部門、企業部門ともに改善

第3次産業活動指数のうち、それぞれ家計と企業の活動に関連が深い業種を取り出してみると、家計部門¹が前月比+0.3%、企業部門²が同+2.4%となった。家計部門に関しては、資金調達環境の悪化により不動産取

¹ 映像・音声・文字情報制作、旅客運送業、小売業、不動産取引業、住宅賃貸業、飲食サービス・宿泊業、医療・福祉、学習支援業、生活関連サービス・娯楽業

² 情報サービス業、貨物運送業、倉庫業、運輸に附帯するサービス業、卸売業、貸事務所業、物品賃貸業、自動車賃貸業、学

引業や住宅賃貸業の活動は低迷が続いているが、エコカー減税やエコポイント制度の効果を受けて、自動車小売業を中心に小売業が好調に推移したことがプラスに寄与している。

また、企業部門については、貿易取引や生産活動の回復を背景に卸売業、貨物運送業などの物流関係業種がプラスとなったほか、企業収益の持ち直しから、学研究、専門・技術サービス業、情報サービス業などの活動が上昇している。

7月は、輸出、生産の回復の継続や景気対策効果により、家計部門、企業部門ともに改善した。特に、企業部門の改善幅が大きい。

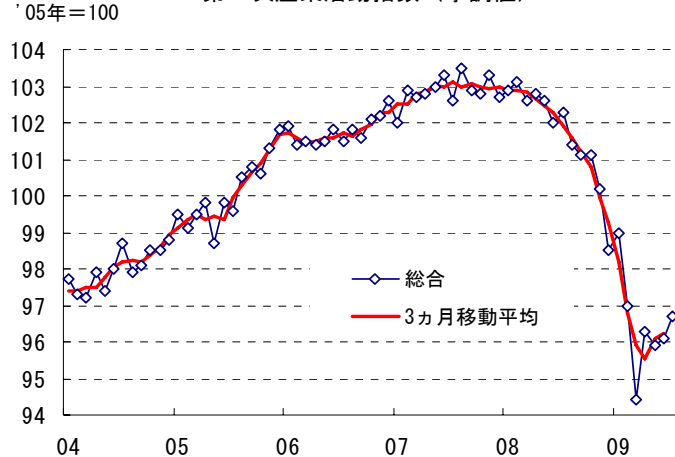
○先行き企業部門の回復に伴い、緩やかな持ち直しへ

第3次産業活動指数の先行きを展望すると、企業部門においては、設備投資の減少が継続しているものの、企業収益が持ち直しつつあることや輸出や生産の回復から、今後も引き続き回復傾向が続くと予想される。

一方、家計部門については、これまでは景気対策の効果によって小売業を中心に持ち直しが続いてきたが、今後はこうした押し上げ効果が弱まってくることや雇用・所得環境の悪化が持続していることを考慮すると、当面、回復力の乏しい動きが続くだろう。

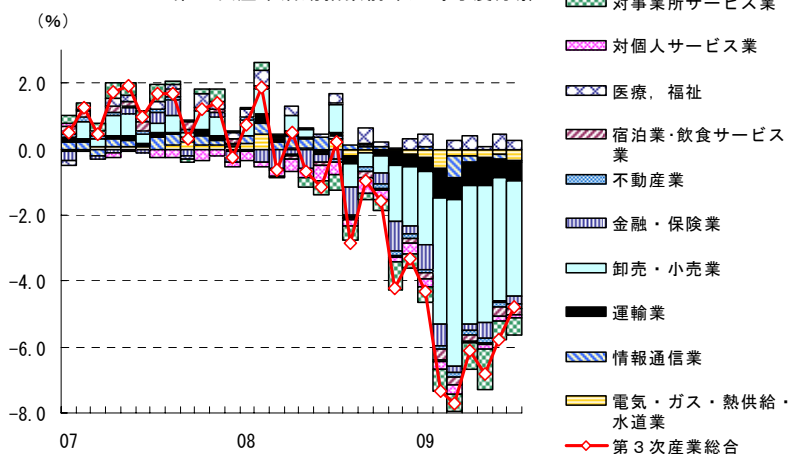
以上を踏まえると、先行き第3次産業活動指数は企業部門業種の回復を主因として、緩やかな持ち直しに転じよう。四半期ベースでみても、7-9月期は6四半期ぶりにプラスに転じる可能性が高い。

第3次産業活動指数（季調値）



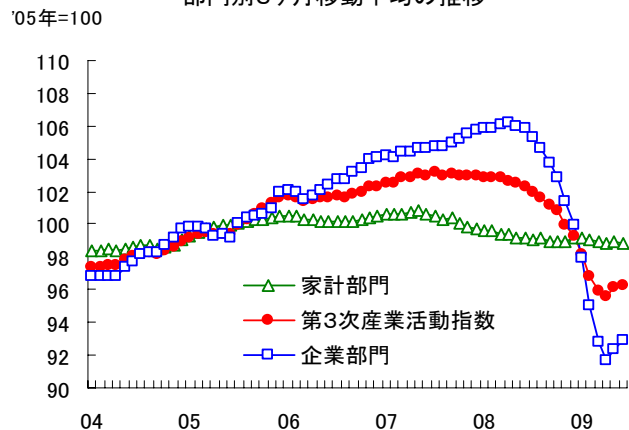
(出所) 経済産業省「第3次産業活動指数」

第3次産業活動指数前年比寄与度分解



(出所) 経済産業省「第3次産業活動指数」

部門別3ヶ月移動平均の推移



(出所) 経済産業省「第3次産業活動指数」

第3次産業活動指数（季調値）



(出所) 経済産業省「第3次産業活動指数」

術研究・専門・技術サービス業